

方式 日程	学部学科	出題内容
指定校推薦	学芸学部 国文学科	次のア、イのどちらか一つを選び、800字程度でまとめなさい。 ア、最近読んだ文学作品をとりあげ、作者、作品についてまとめ、他人に分かるように論評しなさい。 イ、日ごろメディアやインターネット上で見聞きする日本語の中で気になる例をあげ、自分なりに分析しなさい。
	学芸学部 国際英語学科	「母語」ではない外国語（英語に限りません）で人々とコミュニケーションをとる際に気をつけるべき点はどのようなことでしょうか。具体的に事例を挙げてあなたの考えを述べてください。（1,000字程度）
	学芸学部 心理学科	あなたがこれまで「自分とは何者か」という問いについて考えた経験について、800字～1,000字程度で記述しなさい。もし、こうした経験がなければ、自分には、なぜこうした経験がなかったのかについて論じなさい。
	学芸学部 ライフプランニング学科	新型コロナウイルス感染症の拡大により、学生、企業を取り巻く就職・採用環境は大きく変化しています。就職・採用環境の変化に関する別紙の新聞記事「コロナで変わる就活」（朝日新聞 2020/5/25 朝刊 12頁）を読み、以下の問いについて800字～1,000字程度でまとめなさい。 <問い> ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、学生の就職活動、企業の採用活動それぞれにどのような影響を及ぼしているかをまとめなさい。 ・「コロナで変わる就活」に関してあなた自身の意見を書きなさい。
	学芸学部 化粧ファッション学科	高齢者に対する、よそおい（ファッション・メイク・ヘア）がもたらすポジティブな効果やメリットについて、あなたの考えを述べなさい。（600字以上～800字以内）
	児童教育学部 児童教育学科	子どもの社会性を育むうえで『褒めて（自信を持たせて）育てる』という発想よりも、『認められて（自信を持って）育つ』という発想の方が、子供の自信が持続しやすい。』という考えがあります。この考えについて、あなたの考えを800字程度で述べなさい。
	健康管理学部 健康栄養学科	「健康寿命をのばしましょう。」をスローガンに、国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした厚生労働省の国民運動のひとつにスマート・ライフ・プロジェクトがあります。健康寿命を延ばすためには日本人の食生活をどのように改善すればよいかについて、あなたの意見を述べなさい。（800字以上、1,200字以内）
一般試験 3月13日 C	学芸学部 国際英語学科	日本では今後、人口の減少が避けられない状況にあります。長期的には西暦2100年頃に現在の人口の約半分（6,500万人）程度になる予測です。未来の外国語学習（英語を含む）、日本語学習はどのようになると思いますか。あなたの考えを書いてください。（1,000字程度）
	児童教育学部 児童教育学科	2015年9月の国連サミット採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、2030年までに国連加盟国が実現を目指す目標が定められました。これは、持続可能でより良い世界を目指して定められたもので、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals, SDGs）」と呼ばれています。SDGsには17の目標が定められており、目標12「つくる責任つかう責任」には、生産工程における廃棄物の発生抑制、消費者のリサイクル、リユースを求めることが含まれています。保育・教育現場において、目標12に関連してどのような活動が考えられますか。あなたの考えを800字程度で述べなさい。

## 傾向 短文体・新聞記事の読解を含む課題文読解型問題が少なくなり短文体を中心にした出題であった。

### 1 出題形式

一般試験Cは国際援護学科、児童教育学科で行われた。指定校推薦入試では国文学科「800字程度」、国際英語学科「1,000字程度」、心理学科及びライフプランニング学科「800～1,000字程度」、化粧ファッション学科「600～800字以内」、児童教育学科「800字程度」、健康栄養学部健康栄養学科は「800～1,200字」である。ライフプランニング学科のみ新聞記事を資料とした読解型であり他は短文体である。国文学科のみ2つの課題から1題選択して解答する形式である。

### 2 出題内容

各学科で出題されたテーマは現代社会において現在生じている問題、あるいは関心を持つべき問題である。設問は問題

解決に向けて理由を問い、取り組み方を具体的かつ主体的に論じるという論理性を重視したものとなっている。そのため普段から現象をよく観察するという観察眼を磨いておく必要がある。各学科の性質に沿った問題や現代の社会問題に対する関心の高さ、物事を論理的に分析する力が問われている。

### 3 難易度

指定校推薦入試、一般入試C共に制限字数的にも内容的にも難易度は高い。普段から問題意識を持って生活するようにし、志望学部学科に関する問題に対してその原因理由を考え、問題解決の取り組み方を提案できるようにしておくとい

## 対策 短文体・課題文読解型問題に効果的な対策を提案し、学習のサポートをする。

### 1 対策の視点

「短文体」と「課題文読解型」の問題に取り組むと共に志望学部学科に関係した問題及び分析など知識や発想を吸収し、表現できるようにする。

### 2 短文体

まず、「構成」「表現」を学ぶ。そのために「解答例を写す」ことから始めよう。「段落」「文の順序」「語の使い方や係り受け」などを意識しながら書き写すとよい。

次に、志望学部志望学科に関する学習を行う。新書や新聞記事（社説や投稿記事）などを読んで知識や見解を吸収しよう。また、志望学科に則った小論文課題の中で課題文読解型の問題を選び、その課題文と解答例をできるだけ多く読む。そして、過去問に取り組み答案を作成してみよう。できれば数年分が望ましい。その際、制限字数は気にせず納得のいくまで考えることだ。「一度出題された課題は形を変えてま

た出題される」と考えて取り組んで欲しい。その後は志望に基づいた課題をできるだけ多く解いていく。その際、制限字数と形式段落の数、述べる事柄の順番を意識して答案を作成するとよい。

### 3 課題文読解型

ポイントは「要約」と「考えの論述」の2点である。教科書の文章（評論、随筆）や新聞記事などを200字（100字）以内で要約する。「考えの論述」は、要約内容に対して賛成・反対を示し理由を述べることだ。問題解決のために自分がどのように取り組むかということについて述べられるように使用。なお、資料読解型が出題される可能性もあるので、図やグラフなどの読み取りも練習しておこう。資料は特徴的な箇所について社会的背景や原因を指摘することがポイントだ。社会科（政治経済）の資料で練習するとよいだろう。

## 出題例

令和3年度 指定校推薦  
学芸学部 化粧ファッション学科

高齢者に対する、よそおい（ファッション・メイク・ヘア）がもたらすポジティブな効果やメリットについて、あなたの考えを述べなさい。（600字以上～800字以内）

## 解答例

「よそおい（ファッション・メイク・ヘア）」とは、独自の感覚や感受性を他者に向けて示す手段であり、他者や社会との繋がりを形成する方策であると私は考える。特に個人のアイデンティティを確認するものであるとともに他者との社会的関係の形成に関わると私は考える。

退職した高齢者はそれまでの社会的繋がりを失うことにより気力を減退させることがある。社会的アイデンティティを喪失するとともに1日の中で「何もしない」「しなくてもよい」という時間が増えるからである。また、身体機能の衰えや身体の不調が重なることもある。「年甲斐もない」「年齢不相応」などの理由で「よそおい」にも消極的になるようである。

しかし、「よそおう」ことは個人の感性の表出であると同時に自分のセルフイメージの形成にも関わることであるため、むしろ高齢者には必要だと思う。「よそおう」ことは他者の視線を前提としており、「よそおう」ことによって他者や社会と繋がることができる。介護を必要とする高齢の女性が化粧やヘアカットによって生き生きとした顔つきになるという話もよく耳にする。「よそおう」ということは個人の内面を活性化させ、充実感をもたせるのだ。高齢者に多く見られる抑鬱状態に陥るケースが少ないという調査結果もある。積極的に自分を「よそおう」ことによって高揚した気分や若々しさを感じることも前向きな気持ちになることもできる。また、他者との繋がりを感じ自分の社会的アイデンティティを持ち直すこともできる。このように「よそおい」の内面に及ぼす影響は大きい。

男女を問わず高齢者にとってファッション、メイク、ヘアなどの「よそおい」は、自分の気持ちを高揚させたり生き生きさせたりするだけでなく、自分の社会的アイデンティティの再構築や他者ひいては社会との関係形成に役立つ効果を持つと私は考える。

## 学習法【小論文の基礎を学ぼう！】

## ① 小論文とは何か

制限時間の中で特定の設問に対して文章で解答する。設問に対して的確に答えることが求められる。主観性が強い「作文」に対して「小論文」は論理性、客観性が強くなる。

## ② 小論文の課題の種類

## ①短文体

「〇〇についてあなたの考えを述べなさい」など比較的短い語句や文でテーマを示し、それについて答えさせる。

## ②課題文読解型

一定の分量の文章を読ませ、その内容や文章の一部について考えを答えさせる。「小論文」の代表的な出題形式である。

## ③資料読解型

図やグラフを提示し、そこから読み取れる事柄について答えさせる。文章と違って図やグラフの読み取りを練習する必要がある。

## ③ 小論文の5つのポイント

次の5点に気をつけよう。①原稿用紙の使い方。②正しい日本語。③読みやすい文字。④各課題における条件を満たすこと。⑤主観と客観のバランス。

## ④ 表現の14か条

①書き出し、段落の初めは一マス空ける。②「」、『』を正しく使う。③数字、英語、略語、カタカナを正しく書く。④話し言葉、流行語、略語を使わない。⑤漢字、熟語を正しく書く。⑥常体、敬体をどちらかに統一する。⑦体言止め（名詞止め）・比喩など表現技法の使用には注意する。⑧形式段落を設定する。⑨主語と述語、修飾語と被修飾語を正しく対応させる。⑩「～て、～に、～を、～へ」などの助詞を正しく使う。⑪読点（、）を使いすぎない。⑫接続語、指示語を適切に使う。⑬身近な具体例を加える。⑭感情的な表現を避ける。

## 学習法【小論文の対策を練ろう！】

## ① 自分の志望学部学科に合わせた知識を吸収する

志望学部学科に関係する本を読んでみる。新聞やニュースでも良い。気になるところ、理解できそうなところ、興味をもってそうなところを読み、メモを取る。その後メモを見て知識を整理しておこう。国文学科は一冊をしっかり読み主題を明確にしておくとうい。

## ② 小論文の解答例を書き写す

まず、声に出して表現や考え方、話の進め方を意識して一字一句をそのまま書き写す。次に、思い出しながら書いてみる。解答例を見ながらでもよい。大体の話、内容、話の進め方がわかってきたら、何も見ないで自分なりに書いて見る。こうして自分なりの文章が書けるようになる。

## ③ 志望学部学科に即した形式、テーマの問題を解く

初めは時間を気にせず、構成を念頭に置いて書き答案を先生に添削してもらおう。添削された事柄を意識してもらう一度書く。これを繰り返し、慣れてきたら制限時間内を設定して書く。徐々に制限時間内で書けるようになるので、頑張ってください。